授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　英　語　　）　　学年（　　１学年　　）

目指す授業

・英語で積極的にコミュニケーションできる授業
・声を出して音読活動できる授業

授業・アンケート等の課題分析

・「授業の最後に振り返る場面がある。」という質問に否定的な回答が６名（１９％）いた。
・「学ぶ楽しさを感じる」という質問に否定的な回答が５名（１６％）いた。

成果と課題

成果

・英語の授業では、自分の考えを書き発表することができるようになった。
・英語の授業では、生徒の間で学びあう活動を通して、自分の表現の幅を広げることができた。
・コミュニケーション活動は積極的に取り組むようになった。
・スペリングコンテストでは、根気強く指導したことで成果があった。

課題

・授業の最後に、内容を振り返る時間の確保と学習内容定着の確認
・生徒が学ぶ楽しさを感じるよう、内容を精選し、取り組みやすい資料・課題を準備する。

授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　英語　）　　学年（　　２学年　　）

目指す授業

・「楽しい」「分かる」と思える授業
・達成感を味わうことのできる授業
・生徒どうしによる学び合いのある授業

授業・アンケート等の課題分析

アンケート結果では、９５％の生徒が「板書や資料が分かりやすい」「わかった・できたと感じる機会があり分かりやすい」と回答している。一方で約１０％の生徒が「学び合う活動を通して、表現の幅を広げること」や「学習内容を振り返る場面がある」においてあまり当てはまらないと回答。このことから、多様な自己表現活動、振り返り活動を今以上にしっかりと組み入れていく必要があると感じている。

成果と課題

成果

・２年生になり内容が難しくなってきたが、多くの生徒が「授業が分かりやすい」と感じているので今後も意欲を保ち続けられるよう、授業内容を工夫していく。
・学んだことが成果となって表れた生徒が多かった。このことが意欲や積極性の向上につながったと思われる。

課題

・授業の最後に学習内容を振り返る場面が少なかった。文法の導入時では特に意識して、振り返る場面を取り入れ、定着を図っていく。
・自己表現の機会と生徒同士の英文共有場面が少なかったので、今後増やしていき、他者から学ぶ機会を増やす。

授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　　英　語　　）　　学年（　　３学年　　）

目指す授業

・反復学習により基礎・基本を定着させ、実際に運用する力を身に付けることができる授業
・互いに学び合うことのできる授業

授業・アンケート等の課題分析

１００％の生徒が「板書や資料が分かりやすい」「分かった・できたと感じる機会があり、分かりやすい」と回答している。一方で約半数の生徒が「授業の最後に振り返る場面がある」で（あまり）当てはまらないと回答していた。学習内容を振り返る場面を増やすことにより、生徒たちにとって一層充実感を得られる授業にできたのでないかと考える。

成果と課題

成果

・スピーキングやライティングなどのアウトプット活動を増やしたことにより、「自分の考えを書いたり、発表する機会がある」と回答する生徒が増加したと思われる。また表現の幅を広げることができた。
・内容豊かなスピーチや英文に触れる機会を作り、生徒の表現力や応用力を高めることができた。

課題

・授業の最後に学習内容を振り返る場面が少なかった。文法の導入時では特に意識して、振り返る場面を取り入れる必要があった。
・本文理解や文法理解のためのアクティビティのバリエーションを増やし、生徒がより楽しく取り組めるように工夫していく必要がある。